



F · K · C

The

FURANO KOTOBUKI COLLEGE
Times

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎

今日は遠足！神田日勝との再会！！

このゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか。

私の連休は、薪ストーブの円筒掃除からスタートしました。連休の前半は環境美化、そして後半は、トラックを借りて薪をいただきに出かけたり…

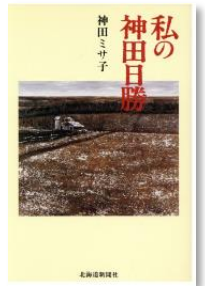
連休最終日は、終日雨だったので30年前に購入した神田みさ子著「私の神田日勝」をあらためて読み直しました。

やっとのんびりしました。

この雨で、麓郷の庭のカンボク・トネリコ・アンズ・ジューンベリー・グズベリー・夏ツバキ…沢山の蕾をつけはじめています。

今週末からはこの白い花たちとともに庭一面に咲く忘れな草たち……

次から次へと春の花たちが咲く5月です。さて、私たち人間はどんな花を咲かせますか。（ここで一句…）



さあ、今日は遠足です。雨に左右されないコースを選んでつくづく良かったと思います。みんなの熱いパワーで寒さも何のその、ゆっくりゆったり染み染みと小旅行を楽しみましょう。

今日のコースとなります。

バスの中では少しだけ画家である神田日勝の生涯 32 年間について触れたいと思っています。



そして、突然の悲しい知らせがありました。藤林ヤス子さんがお亡くなりになりました。信じられません…

藤林さんとの9年間は思い出されます…

“謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。”

本日、5月8日(水) 遠足に出発 !!

日程

- 9:10 富良野市役所南口 出発
9:40 東山支所 着 4名乗車 (10分)
(柏木さん、伊賀さん、坂本さん、磯江さん乗車)
9:50 東山支所 発
11:10 神田日勝記念美術館 着 (50分)
11:50 // 発
11:55 福原記念美術館 着 (30分)
12:25 // 発
13:00 清水ドライブイン十勝亭 着(50分)
13:50 // 発

14:25 道の駅おとふけ 着

NHK 朝ドラ「なつぞら」のふる里、そして柳月スイートピアガーデンで予定より多く時間を取る予定です。

(以下多少時間変更・調整します)

- 14:45 道の駅おとふけ 発
16:15 南富良野道の駅 着 (15分)
(トイレタイム)
16:30 // 発
16:50 東山支所 着 4名降車(5分)
16:55 // 発
17:25 富良野市役所南口 着
解散

次回、5月15日(水) スマホ講習

日程

- 9:15 朝の集い
9:50 クラブ学習の準備
10:00 クラブ学習
(絵手紙クラブは従来通り 2F サークル2)
12:00 昼食・休憩
13:00 スマホ講習会

皆さんからの要望が多かった PC・スマホ教室の第1弾です。ソフトバンク株式会社 CSR 本部地域総務部の高橋奈美さんを講師に開催します。

これからの高齢者にとってこの情報化時代をどう利用できるのかを一緒に考えましょう。

携帯の有無にかかわらず学べる機会です。

(テキストも用意しました。)

※ CSR とは企業(Corporate)、社会的(Social)、責任(Responsibility)を意味します。

企業としての社会的責任という意味です。

お互いに共存していくための学びの場です。

15時00分 終了・後片付け

是非、みんなで勉強しましょう!

【これからの情報化社会】

高度 IT 化・情報化時代と呼ばれてからもう何十年になるのでしょうか。

今や AI 時代です。AI とは「Artificial Intelligence」いわゆる人口知能のことを言っています。

人間に代わってコンピューターが考えて行動するということから鉄腕アトムがその理想の姿なのかも知れません。

鉄腕アトム自身が善悪を判断して行動できる正義の味方、つまり人口知能を持ったロボットです。手塚治虫はこの 21 世紀を創造して 1952 年 (昭和 27 年) にこの鉄腕アトムを創り出したのです。感情や感性をどう AI のデータとして組み入れるのかは創造できませんが、大切なのはあくまでも AI を過信せず、豊かな感性を持つ人間との融合であるべきと考えます。そんなことを一緒に考えましょう!!

神田日勝記念美術館



神田日勝記念美術館

KANDA NISSHO MEMORIAL MUSEUM of ART



〒081-0222北海道河東郡鹿追町東町3丁目2

0156-66-1555



2014年第1回神田日勝記念美術館コレクション展
コレクション選
～30年の歩みを振り返る～
2024.4.25(土)～6.23(日)

10:00-17:00 観覧料(大人1,000円)

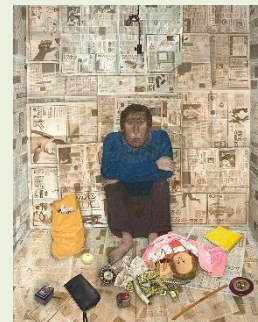
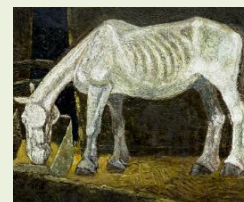
神田日勝記念美術館

〒081-0222北海道河東郡鹿追町東町3丁目2

0156-66-1555

神田日勝の生涯

- ・1937年12月8日(昭和12年)東京板橋区練馬に生まれる。
父：要一 母：ハナ、姉2人、兄、日勝、妹の5人兄弟の次男
- ・1945年(昭和20年)東京大空襲 戦火を逃れるために一家で鹿追町へ疎開
8歳 「拓北農兵隊」に加わり渡道、笹川小学校2年に編入
- ・1946年(昭和21年)住宅が全焼
9歳 父の留守中に当時の半地下式住宅が全焼
- ・1950年(昭和25年)鹿追中学校に入学
13歳 創部された美術部に入部
- ・1952年(昭和27年)兄(一明)の影響で油絵を始める
15歳
- ・1953年(昭和28年)鹿追中学校卒業
16歳 特に美術に優れていたという賞状。家業の農家を継ぐ
- ・1955年(昭和30年)野幌高等酪農学校(通信教育)入学
18歳 翌年1956年(19歳)地元帯広の第31回平原社展「瘦馬」を出展、朝日奨励賞受賞
- ・1957年(昭和32年)第32回平原社展に「馬」最高賞を受賞
20歳 翌年1958年(昭和33年)野幌高等酪農学校卒業
鹿追村連合青年団芸能発表大会演劇の部で2年連続演技賞、脚本賞、弁論大会・陸上大会
- ・1961年(昭和36年)全道展で「ゴミ箱」知事賞
翌年高野ミサ子と結婚
- ・1963年～1969年 多くの作品を制作、個展、作品展に出展
26歳～32歳
- ・1970年(昭和45年)
6月：25周年記念全道展に「室内風景※」出展・・・発熱が続く
8月入院、新得病院から清水赤十字病院
8月25日腎盂炎による敗血賞で逝去
(※室内風景は妻のみさ子さんがモデル?) 右上
(1970年「馬」絶筆未完) 右下



結局、どういう作品が生まれるかはどういう生き方をするのかにかかっている。どう生きるかの指針を描くことを通して模索したい。どう生きるかと、どう描くのかの終わりのない思考のいちごっこが私の生活の骨格なのだ。

機会文明のあおりを受けて人々が既製品の生活を強られるなかで、クリエイティブな我々の仕事は既製品の人生へのささやかな反逆かもしれない。 1970、7 25 周年記念全道展帯広巡回展

芸術は作者にとって表現者にとって最も重大なこと、最も切実なもの、自身の生活に最も強い関わりのあるもの、最もよくしりつくしたものの…を主題に選ぶべきだと思っています。それだけでなくどうして作品を通じて強い発言ができるのでしょうか。バラの美しさや、ネックレスの美しさや、青空の美しさは僕の生活にとって、僕の 人生にとって最も重大だったり最も切実だったりしないのです。

僕の人生観を根底から揺り動かすほどのことではないのです。(中略) バラの美しさやネックレスの美しさは芸術の美とは全然異質だ、自然現象の美しさはそのまゝ芸術の重みのある日にはつながらない。そこに人間の深い思考が参加しなければ……

1969、10月下旬?高橋悦子宛の書簡より

神田日勝の思い!



**道の駅おとふけ
なつぞらのふる里**

Tel: 0155-65-0822
Fax: 0155-65-0823
〒080-0346 北海道河東郡音更町なつぞら2番地

なつぞら (NHK 朝ドラ) 山田天陽くんのモデルが 神田日勝

2019年4月～9月に放送された連続テレビ小説100作目の「なつぞら」、戦争孤児のヒロイン「なつ」が十勝でたくましく成長するストーリー。その中で登場するなつの



幼馴染の農民画家「山田天陽」と出会う。この山田天陽のモチーフとなったのが神田日勝です。

このドラマの十勝編で登場した「柴田家の母屋・牛舎・サイロ」と「菓子店雪月」を模した建物合計4棟が並んで、建物の前には牧草地が整備され、牛のオブジェが来場者を迎えるということです……



柳月スイートピア ・ガーデン

三方六の端っこを購入するために早朝から通っていた方が近所います…とても美味しいです。ちなみに三方六の語源は直径36cmの薪を6等分した扇形の三辺が約18cm(6寸)三方が六寸です。薪割りでは基本!

福原記念美術館



福原記念美術館

Fukuhara Memorial Museum

〒081-0212 北海道河東郡鹿追町泉町1丁目21

TEL : 0156-66-1010

コンセプト

福原記念美術館は、十勝・釧路地方を中心に展開する食品スーパー、(株)福原の創業者である福原治平が長年にわたり蒐集してきたコレクションを一般に公開したいとの考えから設立した美術館です。

コレクション

主な収蔵美術品は齋藤齋 匁の油彩画、藤井範子 匁の日本画をはじめとして田中彰の彫刻、寺島龍一、神田日勝 匁、平山郁夫、片岡球子、中川一政の絵画等、日本を代表するアーティストから地元・十勝で活躍するアーティストまで、約500点の作品が収蔵されております。

展示作品数は約150点。

日本人画家の絵画を中心に、彫刻、書、掛け軸、リトグラフ、ガラス工芸などを5つの展示室に分けて展示しております。

オプション

又、全敷地面積4,000坪の当館にある前庭・後庭とも芝を敷き詰め、そこには巨大(15t,6t)な黒耀石(十勝石) 匁を展示。その脇には推定樹齢1,000年のいちいの大木 匁がそびえ、素晴らしいえんじゅ並木とあわせ四季折々の景観を楽しめるようになっております。



第3展示室 書、詩、歌短冊などの作品



第4展示室 日本を代表とする画家たちの作品(富永直樹・神田日勝など)

樹齢 1000 年と推定されるイチイの木や芝生が敷き詰められた庭が美しい美術館。齋藤齋や鹿追町に縁のある神田日勝など日本人画家の絵画を中心に、狩野探幽らの掛け軸、与謝野晶子の直筆の短冊など、150 点以上のコレクションが展示されています。屋外では巨大な十勝石(黒耀石)や彫刻の鑑賞も。四季折々の景観とともにゆっくりと芸術を楽しむことができます。



5月3日（金曜日）朝8時～11時過ぎまで、お隣の布施さんと麓郷の歴史探索に出かけました。まずは、布施さん宅です。物置には大きな鉄の鍋がいくつもあり、五右衛門風呂もあったと聞いていたので、その確認をしました。

また、手作りの物置の柱には鉄道のレールが使われており、その補強に馬耕用の太い鎖がありました。勿論このレールは森林軌道でのレールです。

布施さん曰く「物は大事にすること。そこには人が生きてきた証があり、歴史が刻まれているのだ」と……

布施さんはあるものを大いに利用して物置を沢山つくり、昔使っていたものはすべて残している」とのことです。

それからいよいよ北麓郷へと車を走らせました。ちょうど



麓郷神社の裏手になる場所でしょうか、2つの水力発電所があったというのです。第一発電所跡はこれだけです。学校など一部に利用するためのものですが、次にできた第二発電所は麓郷の地域全域をカバーする



ために作られたものです。実際のタービンはありませんでしたがその跡が農家さんの物置の一部にありました。驚きです！！以前に、新聞記事になったようですが、麓郷の歴史がよくわかります。

また、途中で熊の親子を発見、「向こうに牛がいる！？」と私、「こんな所に牛はいないぞ！」と布施さん…「熊！」向こうの丘に親子づれ、親熊がこちらをじっと見ているのです。車を止めてやや暫く…親熊がすごく警戒しているようで、動かず、お互いに相手の出方を待っていましたが、静かに子ども2頭を呼んで、向こうの林の中へと去っていきました。

距離として布施さんは250メートルと言っていました。とても近くに感じました。

私達もゆっくりとその場を離れました。

また南麓郷の丘の上で足の長いエゾユキウサギに出会いました。北海道に生息している動物の中では最速で時速80kmだそうです。途中お茶を飲みながら一休みする予定でしたが、そんな余裕はありませんでした。



布施さんには、第二弾・第三弾の麓郷歴史探索で、ゆっくりとお茶を飲みながらもっと深く、広く、麓郷の歴史と現在を知りたいと思います。